

令和5年1月16日

県内の死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザの確定（5例目）について

茨城県那珂市で回収され、環境省の遺伝子検査においてA型鳥インフルエンザ陽性反応が確認（1月12日）されていたオオハクチョウ1羽の死亡個体について、本日（1月16日）、環境省から、遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出された旨の報告がありました。

1月12日に環境省が指定した「野鳥監視重点区域」内の野鳥の監視を引き続き強化します。

1. 経緯

- 1月6日（金）
 - ・那珂市で発見されたオオハクチョウ1羽の死亡個体を回収
 - ・県が簡易検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陰性を確認
- 1月12日（木）
 - ・環境省が遺伝子検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応
 - ・環境省が回収地点の周辺半径10km圏内を「野鳥監視重点区域」に指定
- 1月16日（月）
 - ・環境省が遺伝子検査を実施したところ、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）を検出

2. 対応

- (1) 「野鳥監視重点区域」内における野鳥の監視を引き続き強化します。
- (2) 環境省と連携し、「野鳥監視重点区域」内における野鳥でのウイルスの感染範囲の状況把握、感染源の推定や更なる感染拡大を防止するための基礎情報を得ることを目的とした「状況調査」（鳥類調査、死亡野鳥調査等）を実施する予定です。

3. 留意事項

- (1) 鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等があった場合を除いて、人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配する必要はありませんので、冷静な行動をお願いします。
- (2) 周辺地域のみならず県民の皆様におかれては、「野鳥との接し方について」に十分留意されるようお願いいたします。
(https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/2017yachotonosessikata.pdf)

【取材について】

現場での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いいたします。

【参考情報】

下記のホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。
 環境省HP (https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html)
 県環境政策課HP (<https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/shizen/chojyuhogo/shibo.html>)

【今シーズンの全国での高病原性鳥インフルエンザ発生状況】 (1月16日15時 環境省更新 現在)

- ・野鳥 : 1道23県 155件発生 ※うち本県5件
- ・家きん : 1道22県 59件発生 ※うち本県3件
- ・飼養鳥 : 5県 8件発生

【今シーズンの県内における鳥インフルエンザ発生状況】

(1) 野鳥

	回収地点 (市町村)	回収日	簡易検査 結果判明日	遺伝子検査状況	野鳥監視重点 区域指定日	野鳥監視重点 区域解除日
5例目	那珂市	1 / 6	1 / 6 簡易陰性	1 / 12 A型鳥インフルエンザ陽性 1 / 16 H5亜型高病原性	1 / 12	未定
4例目	龍ヶ崎市	12 / 26	12 / 26 簡易陽性	12 / 28 H5亜型高病原性	12 / 26	1 / 23 (予定)
3例目	龍ヶ崎市	12 / 15	12 / 15 簡易陰性	12 / 19 A型鳥インフルエンザ陽性 12 / 21 H5亜型高病原性	12 / 19	1 / 23 (予定)
2例目	龍ヶ崎市	12 / 16	12 / 16 簡易陽性	12 / 22 H5亜型高病原性	12 / 16	1 / 23 (予定)
1例目	龍ヶ崎市	12 / 8	12 / 8 簡易陽性	12 / 14 H5亜型高病原性	12 / 8	1 / 23 (予定)

(2) 家きん

	発生地点 (市町村)	簡易検査 結果判明日	遺伝子検査による 疑似患畜確定日	防疫措置 完了日	野鳥監視重点 区域指定日	野鳥監視重点 区域解除日
3例目	城里町	1 / 8 簡易陽性	1 / 9	—	1 / 9	未定
2例目	笠間市	12 / 21 簡易陽性	12 / 22	12 / 25	12 / 22	未定
1例目	かすみがうら市	11 / 3 簡易陽性	11 / 4	11 / 22	11 / 4	12 / 20

※ 本表は、野鳥監視重点区域指定日順に整理しております。